



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956

URL <http://www.bond.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大山 啓一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 有澤 彰三 (TEL) 06-6228-2877

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	27,707	6.6	1,256	△19.2	1,496	△11.4	946	△18.4
2022年3月期第1四半期	25,996	10.3	1,554	52.8	1,689	51.9	1,158	75.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,098百万円 (△7.2%) 2022年3月期第1四半期 1,184百万円 (17.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	26.55	—
2022年3月期第1四半期	32.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	117,841	73,139	58.5
2022年3月期	119,148	72,897	57.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 68,899百万円 2022年3月期 68,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	27.00	—	22.00	49.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期第2四半期末配当金(予想)の内訳 普通配当 22円00銭 ボンド発売70周年記念配当 5円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	58,250	8.0	2,670	△22.1	2,800	△23.7	6,860	188.0	192.54
通期	122,000	7.3	6,950	△4.8	7,250	△7.3	9,600	86.9	269.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動している要因は、固定資産の譲渡による固定資産売却益として、第2四半期決算に71億76百万円の特別利益が発生するためです。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	40,707,440株	2022年3月期	40,707,440株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	5,067,373株	2022年3月期	5,067,401株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	35,640,060株	2022年3月期1Q	35,605,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界経済は金利上昇とインフレ、エネルギー価格の高騰で厳しい情勢にあり、我が国経済においても、日銀短観(6月調査)における大企業の業況判断DIは、非製造業では2四半期ぶりの改善となりましたが、製造業では2四半期連続の悪化となりました。製造業においては、資源価格の上昇による原材料コストの増加や上海ロックダウンによるサプライチェーンの停滞が景況感を押し下げている状況にあります。

そういった中、当社グループにおきましては、自動車や電気機械向けの需要は上海ロックダウンによるサプライチェーンの混乱により先行き不透明な状況が継続しましたが、個人消費は持ち直しの動きがみられ住宅業界は底堅い動きとなりました。また、公共投資においてはインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事の受注状況は堅調に推移しました。一方、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制等を背景とする原材料コストの高騰が、収益を圧迫しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高277億7百万円(前年同四半期比6.6%増)、営業利益12億56百万円(前年同四半期比19.2%減)、経常利益14億96百万円(前年同四半期比11.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億46百万円(前年同四半期比18.4%減)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① ボンド

一般家庭用分野においては、ホームセンター向けは前年同四半期並みとなりましたが、コンビニエンスストア向けが回復し、売上は増加しました。住関連分野においては、新設住宅着工戸数の持ち直しの動きが継続し、内装工事用や内装建材用接着剤、外壁用シーリング材の売上は増加しました。産業資材分野においては、電子部品等に使用される弾性接着剤は前年同四半期並みとなりましたが、紙関連用途向けの水性接着剤などが好調に推移し、売上は増加しました。建築分野においては、建築補修用や外壁剥落防止用を使用する材料や建築用シーリング材の売上が増加しました。土木分野においても、表面保護・剥落防止工法が好調に推移し、売上は増加しました。

しかしながら、接着剤やシーリング材に使用される原材料価格がさらに高騰し、経費削減や原価改善の取り組み、売価への反映を遂行したものの、利益は減少となりました。

以上の結果、売上高は161億7百万円(前年同四半期比10.0%増)、営業利益は8億80百万円(前年同四半期比16.3%減)となりました。

② 化成品

化学工業分野においては、樹脂原料や放熱材料の販売が好調に推移しましたが、自動車や電気機械向けの商材は、上海ロックダウンに伴う部品供給不足による減産の影響を受けました。丸安産業(株)は、半導体製造に使用される商材およびコンデンサ用商材が引き続き好調に推移しました。

以上の結果、売上高は82億47百万円(前年同四半期比6.8%増)、営業利益は3億62百万円(前年同四半期比49.1%増)となりました。

③ 工事業

工事業においては、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事の受注状況は引き続き堅調で、売上についても計画どおりに推移したものの、工事に使用される資材価格の高騰等により、利益は減少しました。

以上の結果、売上高は33億6百万円(前年同四半期比7.6%減)、営業利益は26百万円(前年同四半期比87.9%減)となりました。

④ その他

その他は不動産賃貸業等となります。売上高は45百万円(前年同四半期比0.3%増)、営業損失は14百万円(前年同四半期は30百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億7百万円減少し、1,178億41百万円となりました。

① 資産

流動資産は、電子記録債権が14億17百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が28億72百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億84百万円減の813億81百万円となりました。固定資産は、建物

及び構築物が1億75百万円、投資有価証券が1億32百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億23百万円減の364億59百万円となりました。

② 負債

流動負債は、未払法人税等が10億11百万円、賞与引当金が4億93百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ16億30百万円減の395億64百万円となりました。固定負債は、長期借入金が99百万円減少したものの、その他が1億68百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ81百万円増の51億37百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、その他有価証券評価差額金が1億1百万円減少したものの、為替換算調整勘定が1億92百万円、利益剰余金が1億62百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億42百万円増の731億39百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2022年4月28日発表時の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,169	25,904
受取手形、売掛金及び契約資産	35,087	32,214
電子記録債権	10,637	12,054
商品及び製品	7,280	7,989
仕掛品	253	300
原材料及び貯蔵品	1,305	1,575
その他	1,579	1,390
貸倒引当金	△47	△48
流動資産合計	82,266	81,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,967	11,791
その他（純額）	13,651	13,649
有形固定資産合計	25,618	25,441
無形固定資産		
	811	757
投資その他の資産		
投資有価証券	7,628	7,496
その他	2,842	2,781
貸倒引当金	△17	△18
投資その他の資産合計	10,453	10,260
固定資産合計	36,882	36,459
資産合計	119,148	117,841

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,737	31,619
電子記録債務	3,413	3,316
短期借入金	46	47
1年内返済予定の長期借入金	104	78
未払法人税等	1,238	227
賞与引当金	1,125	632
役員賞与引当金	116	33
その他	3,413	3,609
流動負債合計	41,195	39,564
固定負債		
長期借入金	256	157
退職給付に係る負債	612	624
その他	4,186	4,355
固定負債合計	5,055	5,137
負債合計	46,251	44,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,603	4,603
資本剰余金	4,544	4,544
利益剰余金	61,164	61,326
自己株式	△5,504	△5,503
株主資本合計	64,808	64,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,383	2,282
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	270	463
退職給付に係る調整累計額	1,201	1,182
その他の包括利益累計額合計	3,856	3,928
非支配株主持分	4,232	4,240
純資産合計	72,897	73,139
負債純資産合計	119,148	117,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	25,996	27,707
売上原価	20,517	22,411
売上総利益	5,478	5,295
販売費及び一般管理費	3,923	4,039
営業利益	1,554	1,256
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	94	113
為替差益	5	83
持分法による投資利益	2	7
その他	42	50
営業外収益合計	146	256
営業外費用		
支払利息	2	1
減価償却費	6	6
その他	1	8
営業外費用合計	10	16
経常利益	1,689	1,496
特別利益		
固定資産売却益	1	2
その他	17	0
特別利益合計	19	2
特別損失		
投資有価証券評価損	12	11
その他	0	1
特別損失合計	12	13
税金等調整前四半期純利益	1,696	1,485
法人税、住民税及び事業税	210	235
法人税等調整額	277	235
法人税等合計	487	471
四半期純利益	1,208	1,014
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	67
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,158	946

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,208	1,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△206	△119
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	190	201
退職給付に係る調整額	△4	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	21
その他の包括利益合計	△24	84
四半期包括利益	1,184	1,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,126	1,018
非支配株主に係る四半期包括利益	57	80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ボンド	化成品	工事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	14,647	7,723	3,580	25,951	45	25,996	—	25,996
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	72	41	—	114	20	135	△135	—
計	14,720	7,765	3,580	26,065	65	26,131	△135	25,996
セグメント利益	1,052	243	222	1,518	30	1,549	5	1,554

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ボンド	化成品	工事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	16,107	8,247	3,306	27,661	45	27,707	—	27,707
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	89	106	—	195	20	216	△216	—
計	16,197	8,353	3,306	27,857	65	27,923	△216	27,707
セグメント利益又は損失(△)	880	362	26	1,270	△14	1,256	△0	1,256

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。